

コープ災害ボランティア ネットワークニュース

【第107号】2020年10月
東京都生活協同組合連合会
コープ災害ボランティア
ネットワーク幹事会
TEL：03-3383-7800

「ウイズ コロナ」での活動を検討しました — 幹事会報告 —

2020年度選任の10名の幹事により、現在までに3回の幹事会を開催しました。第1回は7月11日（土）、第2回は8月29日（土）、第3回は10月10日（土）に、Google Meet（グーグルミーティング）を使ったオンライン会議で開催しました。

第1回 コロナ禍での2020年度の活動について意見交換

初めに幹事の自己紹介、続いて第18回総会の詳細と、会員のみなさまからいただいたアンケートの回答を確認しました。通常は第1回の幹事会で代表幹事と副代表幹事を選出しますが、次回以降、参集して開催する幹事会で選出することになりました。

2020年度は「コープ災害ボランティア基礎講座（今までは養成講座）」の実施年度ですが、新型コロナウイルス感染の収束が見通せないため、リサーチの上、次回決定することになりました。

また、CO 災ボの会員ボランティアとして参加している、中野区社会福祉協議会主催の広域避難者交流サロン「来らっせしらさぎ」の2019年度の開催数と参加人数が報告されました。2020年2月28日で中止していましたが、7月10日の開催に向け6月26日と7月3日にプレオープンとして実施したとのことでした。

第2回 スキルアップ講座を含めた基礎講座を決定

「コープ災害ボランティア基礎講座」について話し合いました。新型コロナウイルスの新規感染者は減少せず、気長な対応を必要としている現状を踏まえ、できる形を模索しながら実施することが決まりました。ただし、リスクがあることには変わりはないため、予防への厳格な対策や、状況に応じて講座を中止することなど、リスクへの対応についても論議しました。

例年のように5回の連続講座ではなく、スキルアップ講座として、状況の変化に合わせて内容や日程を変更する柔軟性を持たせます。受講修了証の授与も行います。ただし、不足する学習については、次年度のスキルアップ講座でフォローします。

また、アンケートにも新型コロナウイルス関連の情報提供や学習に要望が寄せられていましたので、スキルアップ講座の学習内容に取り上げることになりました。

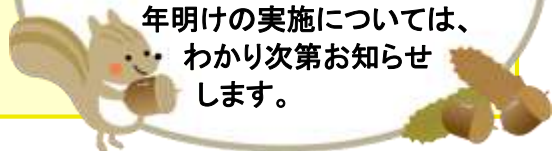
第3回 コープ災害ボランティア基礎講座の内容決定

台風14号接近のため、参集からオンラインに急遽変更し開催しました。今年度の活動計画がようやくまとまりました。「コープ災害ボランティア基礎講座」は受講者のみの講座を3回と、2回のスキルアップ講座の計5回の連続講座とします。「ウイズコロナ」だからこそ、オンラインで参加できる座学を中心に組み立て、スキルアップ講座はオープン講座として、多くの方が参加できるようにします。

また、オブザーバーで参加の福田信章さん（東京災害ボランティアネットワーク事務局長）から、東京都と進めるアクションプランの報告と説明がありました。

お知らせ

毎年11月と12月に活動する「三宅島『風の家』おそужボランティア」は、台風や大雨の影響で、年内は活動中止となりました。年明けの実施については、わかり次第お知らせします。



2020年度 CO 災害のスキルアップ講座

オンライン参加を主とし、参加人数を限定して実出席も可能とします

■12月19日（土）14時～15時40分

学習会「コロナ時代の避難所運営・災害対策」

講師：浅野幸子さん（減災と男女共同参画 研修推進センター代表）

詳しくはチラシを
ご覧ください

■2月20日（土）10時20分～12時

学習会「なぜ人は逃げないのか？～災害が起きる前に～」

講師：市古太郎さん（東京都立大学教授）

詳しくは1月上旬に
お送りするチラシ
をご覧ください。

オンライン参加は、申し込まれたメールアドレスに事務局から「招待メール」を送ります。
招待メールで送る URL をクリックして参加します。簡単な操作ですので、ぜひご参加ください。

講座での感染症対策

会館・各部屋にアルコール消毒液を設置する。貸し出し時間前後に会議室内や備品を消毒する。

- ・トイレ、エレベーター、待合ロビーなどの共用部分は1日数回消毒する。
- ・会館エレベーターは足型シールに合わせ、3人まで乗ることができる。
- ・会議室での食事、試食、懇親会などは禁止する。
- ・講師や演者向けに、飛沫防止シートやパネルの設置、フェイスシールドを準備。

利用者・当日は手洗いと検温を行う。アルコール消毒液の利用とマスクの着用は必須。

主催者・参加者の氏名、緊急連絡先（電話、メールアドレス）を把握する。

- ・会議室の利用人数は定員の45%以下とし、テーブル1本に1人とする。
- ・テーブル配置は東京都生協連のモデルを基に、1～2mのディスタンスを取る。
- ・主催者は会議、イベント中は定期的に窓を開けて換気する（30分に1回5分間）。

■東京都生協連会館会議室使用ルールに沿って開催します（状況に合わせて変更）■



来らせしらさぎ 再開しました!

東日本大震災で避難されている方たちのサロン「来(こ)らせしらさぎ」(中野区社会福祉協議会主催)は、中野区の白鷺1丁目第3アパートで毎週金曜日に開催。ボランティアとしてコープ災害ボランティアネットワークの会員が参加してきました。

3月から休止していましたが、6月26日と7月3日にプレオープンを実施し、7月10日から再開しました。開催は当初は1時間から始め、現在は10時から11時30分の90分になりました。ディスタンスを保つため、参加者を2グループに分けて隔週参加にし、ペットボトルとあらかじめ袋詰めしたお菓子でおしゃべり、恒例のラジオ体操をします。また、法律相談や健康相談も実施しています。

新型コロナウイルス対策として、入り口で検温し、手洗いをして入室。手指の消毒とマスク

着用の上、机1台に1人が着席します。話がはずむと、つい距離が近くなりますが、お互いに「近い近い」と声をかけられていました。30分ごとに窓をあけて換気、開始前と終了後には、机や椅子、手すり、備品などをアルコール消毒します。



参加者から「一人閉じこもって牢獄のように感じた。みなさんの顔を見るだけでホッとする」「自粛期間中、どうしたらサロンを続けられるのか考えていた」などの声が寄せられたそうです。今後は全員の顔を見ることができるよう、Zoomでの開催も検討されています。